



広報

こしがや

1月1日

1日・15日
毎月2回発行

昭和58年(1983) No. 680
編集
越谷市役所企画部広報広聴課



素朴な味わい イノシシ張り子

子(ね)丑(うし)寅(とら)とはじまる十二支。ネズミが干支(えと)のトップランナーなら、12番のイノシシはさしづめアンカーといったところ。どっしりと落ち着いた感じがします。「猪」の地名のついているところは多く、古くからなじみのある動物です。写真は市内で作られたイノシシの張り子ですが、あいきょうたっぷり、ユーモラスな表情をごらんください。土の香り、作った人の手のぬくもりが感じられる郷土の民芸品です。

市の歌

作詩 植木一男
作曲 奥村一二
補作 宮沢章二

一、流れ
幾すじ
波おどり
空へ舞い立つ
歌おう
望みをよろこびを
水とみどりと
太陽の
わが市わが町
花のいのちに
飾られて
愛がかかるよ
人の輪に
生きる日
励む日
夢見る日

（実践項目）
・仕事と奉仕に誇りと勇びをもち
ましよう
・すすんでスポーツに親しみ、心
身を鍛えましょう
一、健康で楽しく働き、明るいスポ
ーツのまつをつくります
（実践項目）
・お年寄りを大切に心豊かな子供
を育てましょう
・自然を愛し、お互いに助けあ
い、きれいなまつをつくります
（実践項目）
・いつも笑顔であいさつしましょ
う
・人に迷惑をかけないようにしま
しょう
（実践項目）
・お年寄りを大切に心豊かな子供
を育てましょう
・きれいな川、美しい花や緑を育
てましょう
（実践項目）
・お年寄りを大切に心豊かな子供
を育てましょう
・自然を愛し、お互いに助けあ
い、きれいなまつをつくります
（実践項目）
・伝統を守り、香り高い文化を育
てましょう
（実践項目）
・きまりを守り、信じあい心豊か
な明るいまつをつくります
（実践項目）
・人と人とのふれあいを大切にし
ましょう

市民憲章

三、昇る朝日のほほえみは
わが市わが町越谷よ
ひかりを集めてさわやかに
若いも若きも肩を組む
わが市わが町

美しい文化の種の一粒、一粒を、市民が大切に育てる。それが一つひとつ実を結んでいく。とてもすばらしいことです。今年も一つの道をひたすら歩いている市民のみなさんを紹介します。



市民が蒔いた文化の種の一粒、一粒を、市民が大切に育てる。

それが一つひとつ実を結んでいく。とてもすばらしいことです。今年も一つの道をひたすら歩いている市民のみなさんを紹介します。

去年の4月、ジョアール弦楽四重奏団の演奏会があった。54年に市民ホールが完成し、演奏会があつた。だが、その中でも市民に親しまれた演奏会の一つだった。

それもそのはず、団員の一人石橋敦子さん(27歳)は演奏会の前から広く市民に呼びかけてきた。初めて地元公演だった。

「東京に聴きにいける人のためにも、生の音楽をぜひ聴いていただきたいと思いました。ですから、気軽に聴いていただけるようなど、プログラムも短いものにしました」

いまでも、機会があれば地元での演奏会をしたいと考えている。

敦子さんがバイオリンを手にしたのは7歳のとき。すでに二人のお姉さんはピアノをはじめていたが、敦子さんはバイオリンを。それでも、何の抵抗もなく選んだ。

よほど相性がよかったのだろう。厳しいはずのレッスンが楽しいものに。週に一度のレッスンは休まなか

った。大雪の日にも出かけ、先生から、「こんな日によくきたわね。きょうはお休みと思ってたわ」というエピソードも。

姉妹そろって音楽家といふこともあるのだが、やはり環境は大切だという。「気がついていたら、バイオリンを弾いていたという感じなんです」毎日三、四時間はバイオリンを手にする。本人は気楽そうに話すが、ひとつ道を歩むことに厳しさがないはずがない。それを笑顔で隣までいはづく。「もとで白い歯が光る。ふだんは清潔なお姉さんそのものだ」

演奏活動に明け暮れる毎日だが、ステージの魅力は何といっても、聴いている人たちとの一体感だといふ。また、ソロの場合と違って、四重奏はそれぞれの楽器への気遣いがありコミュニケーションが生まれる。一つの音楽を作るという気持ちがいつしょになるのだ。

近いうちに、越谷で敦子さんの演奏がまた聴けるかも知れない。

去年の4月、ジョアール弦楽四重奏団の演奏会があった。54年に市民ホールが完成し、演奏会があつた。だが、その中でも市民に親しまれた演奏会の一つだった。

それもそのはず、団員の一人石橋敦子さん(27歳)は演奏会の前から広く市民に呼びかけてきた。初めて地元公演だった。

「東京に聴きにいける人のためにも、生の音楽をぜひ聴いていただきたいと思いました。ですから、気軽に聴いていただけるようなど、プログラムも短いものにしました」

いまでも、機会があれば地元での演奏会をしたいと考えている。

敦子さんはバイオリンを。それでも、何の抵抗もなく選んだ。

よほど相性がよかったのだろう。厳しいはずのレッスンが楽しいものに。週に一度のレッスンは休まなか

バイオリン

いかかえて弾けるバイオリンに愛着があります。

いし ばし あつ こ
石橋 敦子 サン

どんなときでも、レッスンは欠かしたことがないという石橋さん(南越谷3の2の18)



「うるわしい」が、「うるし」の語源であるといわれている。それは、漆の味わいのある光沢には「得難(えがた)き」がある。

林暁さん(28歳)は、若い漆工芸家の伝統の継承として伝えられていく漆を、現代に生かしている。漆器はお客様だけのもの。三度の食事には使わないもの。そんなイメージが強い。高級品。冠婚葬祭などの「ハレ」の食器。

「使うための食器ですから、使ってもらつてはじめて漆器となるんですね。漆器のボディーラリティをいつも考えています」

とはいっても、プラスチックやべークラフトの器と違つて、大量生産ができない。人が買えば買つぱり安く私たちの手に入るということはないのだ。

林さんを見てみると、漆器作りを楽しんでいるように見える。漆がぶれという言葉があるように、怖いイメージのある漆となんじでいるようないい。女性だけのものだとも、たしかに「音楽を愛する人の気持ちで、変わらないんですね」

女性バイオリニストのよさは「女性の細やかな感情が素直に表現される」ところにあるといわれている。

「表情の豊かさと情感の細やかさは女性だけのものだ」とも。

たしかに「音楽の話となる」といふ。敦子さんの表情は豊かになる。「口がキラキラと輝く。まことに愛くるしい」とまさに女性の声は樂器。

バイオリンは、人間の声にもっとも近い樂器だといわれている。それが女性の手による演奏だとなおのこと。まさに女性の声は樂器。

とにかく練習はよくする。すべて自分の開いたところでも、バイオリンの音色を聴くところでも、奏がまだ聴けるかも知れない。

漆工芸

人に使つてもらつて、本来の漆器なんです。

林

暁

さん

えびすさまと大黒さま



みんなのひろば

クイズ

第126回問題



さしこ・大徳美智子

①空と並ぶ〇〇〇〇〇〇、UFO
②赤ちゃんをほこんで来る鳥など
言わっていました

タテの力ギ

こどもコーナー





邦 樂

琴の音色、それは私た
ちの心の原点ですね。

青柳 幸子さん

十三弦ではなかったが、琴は古事記にも出てくる歴史の古い楽器である。平安朝の、あの王朝絵巻にみ登場する楽器ではない。「琴線に触れる」という言葉がありますね。あれはほんとうにお琴の音色をあらわしていると思います

琴は日本の伝統楽器。日本の樂器は材質のよさがそのまま出ている。尺八は竹の音がする。琴は、桐の音である。邦樂は決してむずかしいものではありません。だから、ぜひ生の音を聴いてほしいと思います」

有名な「六段」は、正しくは「六段の調べ」といい、八橋横校(やつはしけんきょう)の作曲。どうがどういふの持つ音色、それが日本の樂器なんです、と青柳さん(袋山)

自然のよさ、自然そのものの持つ音色、それが日本の樂器なんです、と青柳さん(袋山)

この六段は、バロック音楽との同時性がある。わが国で「六段」が盛んに演奏されていたころ、かの国では、たとえば「フランダングル協奏曲」などが演奏されていたのである。

そういえば、琴とバロック音楽には、どこか共通したところがある。その点を青柳さんは、

「琴という樂器のイメージを変えてしまふと、アンサンブル演奏で、クラシックの小品や、ボビューラー音楽を演奏したことがあるんですよ。お身によてもよく合いました」

それはひとつ挑戦であり、脱皮でもあった。しかし、琴の音色に変わりはない。琴は日本の音なのです。

「私はどこかで人生に通じるものがあるような気がします」

だから、まねではなく、ほんもの心を求めていた。しかし、人生は「模倣」であってはならないのです。いつしょに琴をやってきた人の声には、いつも琴の音色が。

「可能性はどうでも、という気持ちは、一生持ち続けたいですね」

白木さんは茨城県の出身。19歳で

美とまじろる

の道をひたすら歩いている市民のみなさんを紹介します。

絵 画

対象との語らい、それ
がとても大切なのです。

白木 建男さん

こどもクイズ

第126回問題

タテの力ギ

(18) 赤ちゃんをほごんで来る鳥だと
言われていました

この六段は、パロック音楽との同時性がある。わが国で「六段」が盛んに演奏されていたころ、かの国では、たとえば「フランダングル協奏曲」などが演奏されていたのである。

そういえば、琴とバロック音楽には、どこか共通したところがある。その点を青柳さんは、

「太陽とひと」に書つても、そこには、明るい、まぶしい、暖かい、熱いといふように、いろんななけどりかたがあるでしょう。水にしてもそうです。美しい、冷たい、あるいは水鳥の声が聞こえてくるかもしない。それがイメージなんですね」

白木さんは、絵を教えてわかるのですが、絵の感じ方が実に素直なんですね。意外な答えが返ってくる。でも、それでいいんです。絵を見る人の感じ方って、とても大切なことですよ」

白木さんの表現、想像の展開といつても、「過性のもの、殺那(せつ)的なものなのではない。やはり、跡切れなためには、次代の担い手たちの登場をまたなければならぬ」

「これだけ盛りあがつてきた市民文化です。クリエートするというのはその過程がすばらしいのであって、結果ではないんですね」

市民が持った文化の種を市民の手で育てる。その土壤は分だと白木さんは言う。絵の鑑賞は、まず何よりもその作品と対話すること。だから、誰とでも語れる絵を描きたいといふ白木さんだ。

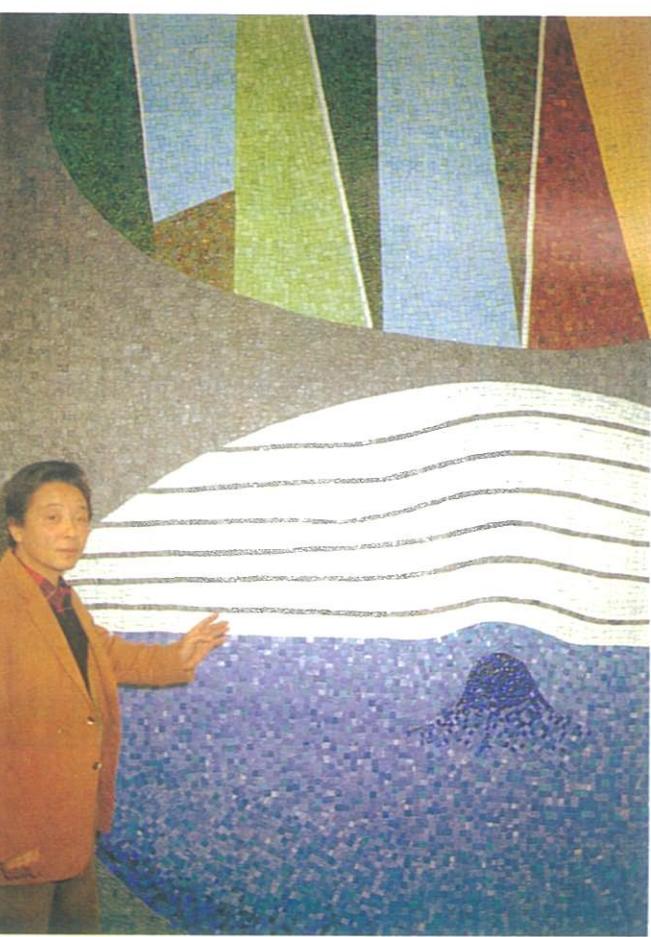
みんなが毎日元気に行いくのです

(9) ホバー・クラフトは、水陸 $\circ\circ\circ$ $\circ\circ\circ$ の船です

(10) プレゼント。日本語で言うと? (11) オジイさんのこと)です (12) ファッション $\circ\circ\circ$ は、女の子のあこがれ (13) ふる里の $\circ\circ\circ$ がどどいた (14) きょうは楽しい $\circ\circ\circ\circ$ 。リュックをしようって、水どう持つ (15) ふる里の $\circ\circ\circ$ がどどいた (16) 雪がこおって、 $\circ\circ\circ\circ$ すべる (17) ふる里の $\circ\circ\circ$ がどどいた (18) ふる里の $\circ\circ\circ$ がどどいた

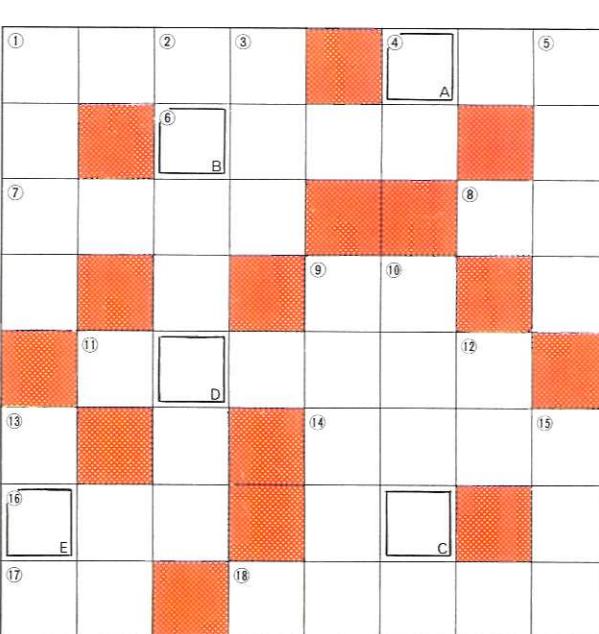
(19) みんなが毎日元気に行いくのです

(20) これには「ほたるの光」の歌がつきものです。巣立つ日 (21) どんどんや $\circ\circ\circ$ は、リスが好きな食べ物です (22) 立春。こよみの上ではもう $\circ\circ\circ$ ですね



同じフォルムでも、人によって感じ方がさまざま、と白木さん(大沢1の6の12)

みんなのひろば



①タテの力ギ
②空とぶ $\circ\circ\circ\circ$ 、UFO
③どんどんや $\circ\circ\circ$ は、リスが好きな食べ物です
④立春。こよみの上ではもう $\circ\circ\circ$

⑤みんなが毎日元気に行いくのです
⑥ホバー・クラフトは、水陸 $\circ\circ\circ$ $\circ\circ\circ$ の船です
⑦おじいさんのこと)です
⑧ふる里の $\circ\circ\circ$ がどどいた
⑨ふる里の $\circ\circ\circ$ がどどいた
⑩ファッション $\circ\circ\circ$ は、女の子のあこがれ
⑪ふる里の $\circ\circ\circ$ がどどいた
⑫雪がこおって、 $\circ\circ\circ\circ$ すべる
⑬ふる里の $\circ\circ\circ$ がどどいた
⑭そつくりなこと)たどりて。ある
⑮正解者20名のみなさんに賞品をおくります。正解者多数の場合には抽選です。
⑯○○○をおこすのは、水力や火力、原子力で
⑰きよ年はやった言葉です。
⑱きよ年はやった言葉です。
⑲きよ年はやった言葉です。
⑳赤ちゃんとほごんで来る鳥だと
言われていました

越谷に伝わる

民話のこころ

おかあさんから子どもへ、子どもから孫へと語り継がれてきたのが民話です。おかあさんのひざに抱かれて、いろいろばたで、仕事の手を休めた合間に聞いたお話。そこには私たちが忘れてならない大切な心があります。ふるさとの心といつていいかも知れません。そうして語り継がれてきた民話は越谷にあるのです。ふるさとの民話を、ぜひお読みください。そして、おかあさんからお子さんに語つてあげてはいかがですか。

片目のお地蔵さま

荻島にある野島淨山寺のお地蔵さまは、それはそれで、たいそうな働き者でした。

お地蔵さまはとても早起きです。

朝早くからお坊さんの姿に身を変え

るとい、村中をまわって歩きます。

一番どりがコケコッコーと鳴いて

いるのに、まだ戸口を開めたままの

家があると、「戻戻」をドンドンドた

いて、

「起きろ、起きろ、起きて働け」

と大きな声で家人を起こします。

それでも、寝ぼう人、がいて、

また暗いじゃないか。ムニヤ、ムニ

ヤ」

とまだ寝ぼけにもぐっています。

そんな人は、地面に響くような

大きな声でしかりとぼしました。

「たわけ者! さっさと働け!」

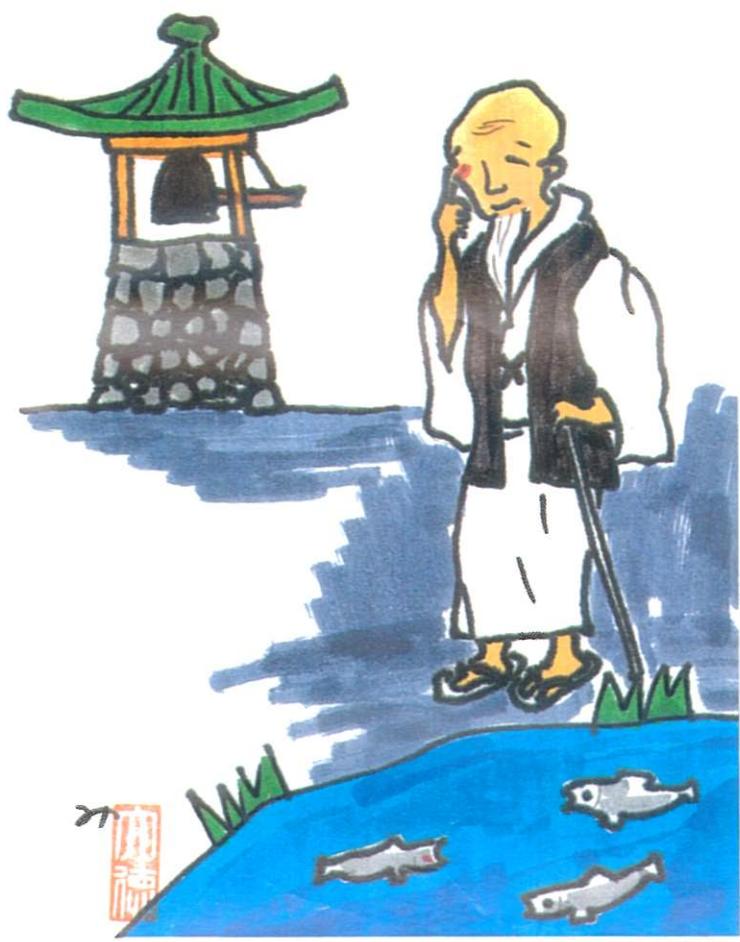
また、朝早くからせっせと働いて

いる村人を見ると、やさしいお地蔵さまの顔が、いつそうやさしくなります。

「精が出るのう。感心、感心」

こういって、村人をほげますのでした。

村の人たちは、とても働き者でした。それもそのはず、毎朝のようにお地蔵さまがやさしく見守り、ほげました。だから、秋のとり入れには毎年山



さしえ・大徳美智子

ののような美がありました。よその
村が不作のときでも、野島だけは、
日ごろいっしょうけんめいみんなが
働くおかげでいつも大豊作。村人たち
がお地蔵さまを心から尊敬したの
はいまでもあります。

夏も近いある日のこと。

お坊さんのかくこうをしたお地蔵
さまは、いつものように茶つみでい
そがしい茶畑にやってきました。シ
ラバトが鳴いて、とても気持ちの
いい風が茶畑に吹いています。あた
りは一面の緑。お茶の若芽を見
てまわるうち、うっかり畑のくぼみ

に足をとられたお地蔵さまは、前の
めりに倒れてしまいました。
「あいたー」
転んだばずみに、銳くとがった茶
の木を左の目に突きさしてしまった
のです。

お地蔵さまの声におどろいて、茶
摘みの娘や村びどたちがあわててか
けつけました。でも、そのときは、
「心配せんでもよ、心配せんでも
りませんでした。でも、そのときは、
もよい。さあ、みんな仕事を続けな
さい!」

ええい、なんてにららしい茶の木
なんだろうといふことで、それから
しまったという話です。

お地蔵さまは立ちあがると、その
ままですたと歩き出しました。そ
して、お寺の前にある池で目を洗う
と、お寺に戻ってしまったのです。

ところが、それから不思議なこと
が一。なんと、池に浮んでいる魚
という魚が、みんな片目になってしま
ったのです。なにより、村人がか
らしたわれて、お地蔵さまが片目
になってしまった。池のコイやフナたち
までが片目になってしまったのです
から、それはおおさわぎ。

「お地蔵さんの片目がつぶれた」

「池のフナやコイまで片目にな
ってしまった。どうすんべえ」

ええい、なんてにららしい茶の木
なんだろうといふことで、それから
しまったという話です。

増森のセイ魚の話

いま古利根川が増森の方を大き
くう廻して流れいたむかしのお話
です。

そのころは川を利用した船の交通
がとても盛んでした。船がのぼった
りくだたり、とてもにぎやかでした。
増森には荷物の積みおろしをする
河岸場(かしば)もありました。

そして、ここにはセイ魚というと
ても水の深い場所があったのです。

セイ魚には、昔から住んでい
る川の主(ぬし)がいました。その
魚はセイ魚といいました。

春がきて冬になり、また春がきて
春がきて冬になります。それでも、
かえしていくうちに、川のようすも
だんだんとかわっていきました。セ
イ魚が住んでいた瀬もあんなに深か
ったのに、年がたつうちに浅くなっ
てきました。そのうち、とうとう浅
瀬になってしましましたが、これで
はさすがの主も住むことができま
せん。

「おあ、この増森が大好きで、
こないといふのがないと思ってた
のに、これではもういじり住めなく
な」

なつしまった。さびしいけれど
なつてしまな。兄弟のいる鐘ヶ淵さく
べえ」

セイ魚は泣き泣き古利根川下流の
鐘ヶ淵へ住みかをかえてまいりました。
た。セイ魚の大きな涙はあふれんば
かりだったといいます。

それからのこと。古利根川を利用
して江戸川の問屋へ荷を運ぶとき、
船が鐘ヶ淵の近くにさしかかるとし
ばしばひっくりかえるようになった
のです。

困ってしまったのは増森の人たち
です。ひたいをよせあっては、みん
な相談をしました。

「船がひっくりかえるのは、セイ
魚が鐘ヶ淵にいたセイ魚が鐘ヶ淵さいっ
ぱってからだに。こりや、セイ魚の
しわせだんべ」

「なんだ、なんだ。セイ魚に違
ねって」

「セイ魚が悲しんでんだ。わい
ことしたって。ほんに、セイ魚にす
まねえな」

それからといふもの、増森の人た
ちは、鐘ヶ淵に船がさしかかるとき
しまってありませんが、どこかでセ
イ魚の泣いている声が聞こえてきま
す。



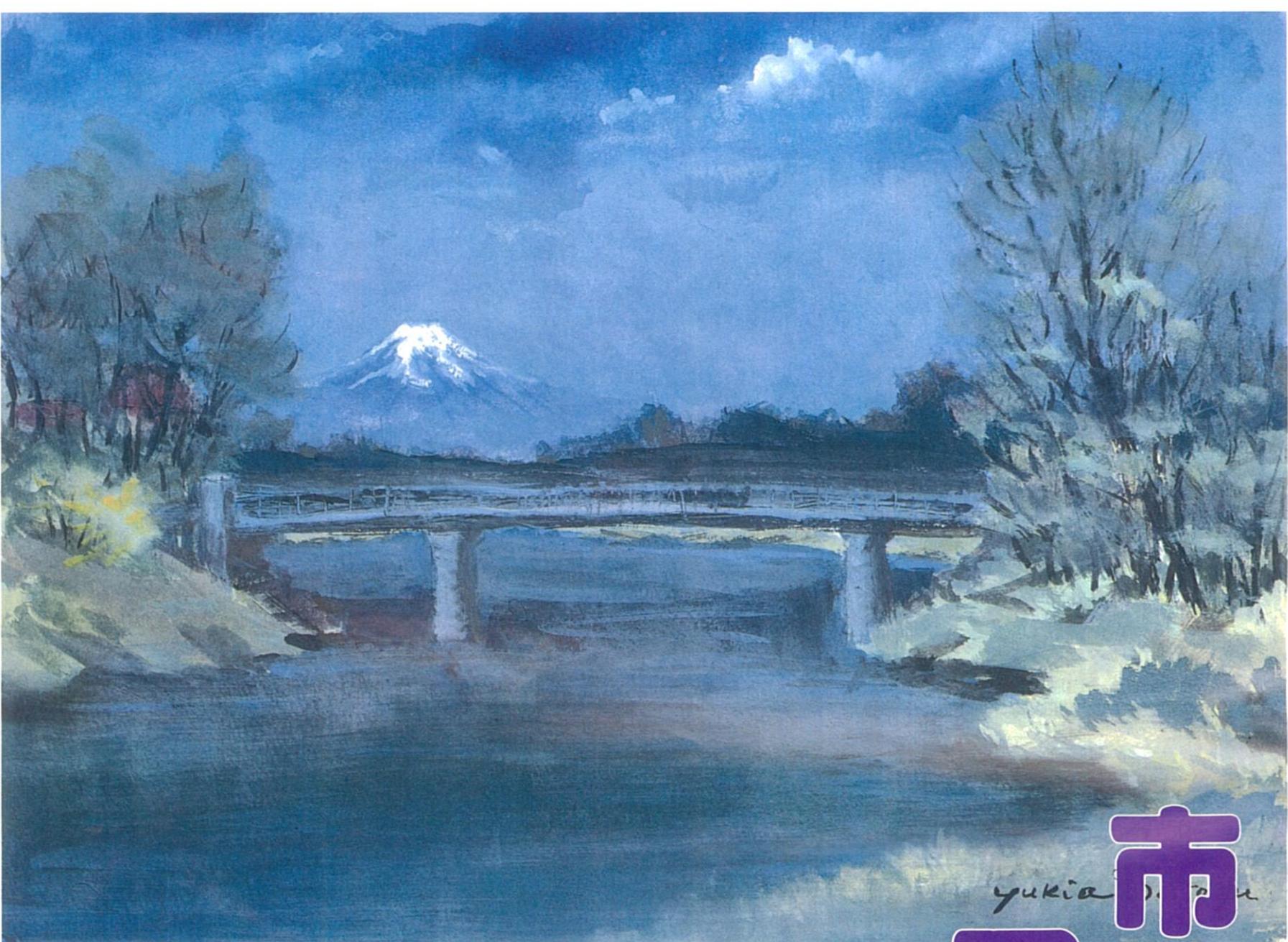
さしえ・大徳美智子



広報

こしがや

新春臨時号
市政アメニティカレンダー
昭和58年1月1日
編集
越谷市役所企画部広報広聴課



●眺望が開け富士山の見える風景

市民のみなさま、「市政アメニティカレンダー」をお送りします。
昨年の六月、「環境週間」にちなんで市民のみなまじで、いたいたアメニティ八景は、スケッチ画として、絵はがきにもなり、広くみなぎまに親しまれているところです。この八景は大徳幸雄さんの手によって水彩画になり、いわば「越谷アメニティ八景」の決定版となりましたので、さうに市民のみなまから、あるきとの景色として親しんでいたために、市政アメニティカレンダーにいたしました。それぞれの家庭で利用いただければ



さいわいに存じます。
さて、昨今の環境問題は、自然破壊的な、いわゆる公害防止にしまらず、アメニティという言葉で表現されるように、質的にもより幅広くとらえられています。快適な環境を考えるうえで、道路・水などの都市基盤の整備を着実に実施していくことはもちろんですが、これらをターニング・ポイント、「やさしさ」など快適性をヨコ軸に、自然との調和のとれたまちづくりをすすめています。

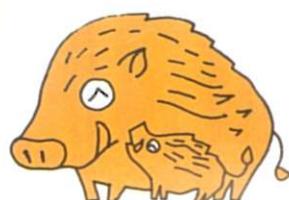
アメニティ八景の一つひとつを大切に守り育てていかなければなりません。越谷市は昨年に引き続き、「健康で文化的な生活が送れる魅力的なまちづくり」をめざして、西暦1980年（昭和七十五年）を目標にした第二次総合振興計画を策定しています。これは、西暦1980年にはこうなるのだといふことではなくて、いまからの越谷を五十年、あるいは一〇〇年先を見たときに、昭和七十五年にはこうならないことはならないだぞうといふ目標を設定しています。

快適な環境づくりをみんなで

市政アメニティカレンダー!

★アメニティ八景・画・大徳幸雄氏★

市
yukio kudo
アメニティ
カレンダー!
'83



ふるさとは誰の心にもあります。市民のみなまじが選んだアメニティ八景は、憩いややすらぎを感じさせる風景、歴史的な雰囲気を残している場所など、どれをとっても快適な環境を求める市民の願いがこめられています。私たちの共通の財産です。

積極的に自然を守りながら、自然を壊さず、さうには社会環境、精神環境をも含めた環境づくりをしていくのが、これから

私たちの義務だと思います。快適な環境、それはまさに私たち一人ひとりの「生活の舞台」なので



●久伊豆神社の社叢(しゃそう)

1983

1

JANUARY

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	・	1 仏滅日
2 大安	3 赤口	4 先勝	5 友引	6 先負	7 仏滅	8 大安
9 赤口	10 先勝	11 友引	12 先負	13 仏滅	14 赤口	15 先勝 成人の日
16 友引	17 先負	18 仏滅	19 大安	20 赤口	21 先勝	22 友引
23 先負 30 仏滅	24 31 大安	25 大安	26 赤口	27 先勝	28 友引	29 先負

2

FEBRUARY

日	月	火	水	木	金	土
・	・	1 赤口	2 先勝	3 友引	4 先負	5 仏滅
6 大安	7 赤口	8 先勝	9 友引	10 先負	11 仏滅 建国記念の日	12 大安
13 先勝	14 友引	15 先負	16 仏滅	17 大安	18 赤口	19 先勝
20 友引	21 先負	22 仏滅	23 大安	24 赤口	25 先勝	26 友引
27 先負	28 仏滅	・	・	・	・	・



YUKICO

●元荒川の桜堤

1983

3

MARCH

日 月 火 水 木 金 土

•	•	1	2	3	4	5
		大安	赤口	先勝	友引	先負

6	7	8	9	10	11	12
仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅

13	14	15	16	17	18	19
大安	赤口	友引	先負	仏滅	大安	赤口

20	21	22	23	24	25	26
先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝

27	28	29	30	31	•	•
友引	先負	仏滅	大安	赤口		

4

APRIL

日 月 火 水 木 金 土

•	•	•	•	•	1	2
					先勝	友引

3	4	5	6	7	8	9
先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負

10	11	12	13	14	15	16
仏滅	大安	赤口	先負	仏滅	大安	赤口

17	18	19	20	21	22	23
先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝

24	25	26	27	28	29	30
友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引

天皇誕生日



● 豊かな水をたたえた田園風景

1983

5

MAY

日	月	火	水	木	金	土
1 先負	2 仏滅	3 大安 <small>憲法記念日</small>	4 赤口	5 先勝 <small>こどもの日</small>	6 友引	7 先負
8 仏滅	9 大安	10 赤口	11 先勝	12 友引	13 仏滅	14 大安
15 赤口	16 先勝	17 友引	18 先負	19 仏滅	20 大安	21 赤口
22 先勝	23 友引	24 先負	25 仏滅	26 大安	27 赤口	28 先勝
29 友引	30 先負	31 仏滅	•	•	•	•

6

JUNE

日	月	火	水	木	金	土
•	•	•	1 大安	2 赤口	3 先勝	4 友引
5 先負	6 仏滅	7 大安	8 赤口	9 先勝	10 友引	11 大安
12 赤口	13 先勝	14 友引	15 先負	16 仏滅	17 大安	18 赤口
19 先勝	20 友引	21 先負	22 仏滅	23 大安	24 赤口	25 先勝
26 友引	27 先負	28 仏滅	29 大安	30 赤口	•	•



●吉利根川の緑豊かな水辺

1983

7

JULY

日 月 火 水 木 金 土

•	•	•	•	•	1 先勝	2 友引
---	---	---	---	---	---------	---------

3 先負	4 仏滅	5 大安	6 赤口	7 先勝	8 友引	9 先負
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

10 赤口	11 先勝	12 友引	13 先負	14 仏滅	15 大安	16 赤口
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

17 先勝	18 友引	19 先負	20 仏滅	21 大安	22 赤口	23 先勝
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

24 友引 /31 先負	25 先負	26 仏滅	27 大安	28 赤口	29 先勝	30 友引
-----------------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

8

AUGUST

日 月 火 水 木 金 土

•	1 仏滅	2 大安	3 赤口	4 先勝	5 友引	6 先負
---	---------	---------	---------	---------	---------	---------

7 仏滅	8 大安	9 先勝	10 友引	11 先負	12 仏滅	13 大安
---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------

14 赤口	15 先勝	16 友引	17 先負	18 仏滅	19 大安	20 赤口
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

21 先勝	22 友引	23 先負	24 仏滅	25 大安	26 赤口	27 先勝
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

28 友引	29 先負	30 仏滅	31 大安	•	•	•
----------	----------	----------	----------	---	---	---



● 古い家並・宿場の面影

1983

9

SEPTEMBER

日	月	火	水	木	金	土
•	•	•	•	1 赤口	2 先勝	3 友引
4 先負	5 仏滅	6 大安	7 友引	8 先負	9 仏滅	10 大安
11 赤口	12 先勝	13 友引	14 先負	15 仏滅 敬老の日	16 大安	17 赤口
18 先勝	19 友引	20 先負	21 仏滅	22 大安	23 赤口 秋分の日	24 先勝
25 友引	26 先負	27 仏滅	28 大安	29 赤口	30 先勝	•

10

OCTOBER

日	月	火	水	木	金	土
•	•	•	•	•	•	1 友引
2 先負	3 仏滅	4 大安	5 赤口	6 先負	7 仏滅	8 大安
9 赤口	10 先勝	11 友引	12 先負	13 仏滅	14 大安	15 赤口
16 先勝	17 友引	18 先負	19 仏滅	20 大安	21 赤口	22 先勝
23 友引 /30 先負	24 /31 先負	25 仏滅	26 大安	27 赤口	28 先勝	29 友引



●鎮守のもり

1983

11

NOVEMBER

日 月 火 水 木 金 土

・ 1 2 3 4 5
大安 赤口 先勝 友引 仏滅

6 7 8 9 10 11 12
大安 赤口 先勝 友引 先負 仏滅 大安

13 14 15 16 17 18 19
赤口 先勝 友引 先負 仏滅 大安 赤口

20 21 22 23 24 25 26
先勝 友引 先負 仏滅 大安 赤口 先勝

27 28 29 30
友引 先負 仏滅 大安

12

DECEMBER

日 月 火 水 木 金 土

・ 1 2 3
赤口 先勝 友引

4 5 6 7 8 9 10
大安 赤口 先勝 友引 先負 仏滅 大安

11 12 13 14 15 16 17
赤口 先勝 友引 先負 仏滅 大安 赤口

18 19 20 21 22 23 24
先勝 友引 先負 仏滅 大安 赤口 先勝

25 26 27 28 29 30 31
友引 先負 仏滅 大安 赤口 先勝 友引

◆この市政アメニティカレンダーのなかほどを切りとつて、各家庭の壁等におはりください。



Yukio Daitoku

●元荒川と葛西用水の開けた水辺

◆◆ 各種市民相談案内 ◆◆

各種相談	とき	ところ	相談内容
市民相談	日曜日を除く毎日 8:30~17:00(土曜日は12:00まで)	市役所1階市民相談室 (64)2111(内)202	市政に対する苦情、要望、意見やその他一般市民相談
弁護士による法律相談	毎週水曜日 13:00~16:00(受付は12:00~13:00)	市役所1階市民相談室 (64)2111(内)323	法律上の諸問題についての相談 ★人数制限がありますのでお早めに
税務相談	毎月20日 10:00~15:00(日曜、祝日の場合は翌日)	市役所1階市民相談室 (64)2111(内)323	税金関係(とくに贈与、相続税等の国税)
税理士による税務相談	毎月第1月曜日 10:00~15:00	市役所1階市民相談室 (64)2111(内)323	税に関すること(贈与・相続・所得税)
交通事故相談	日曜日を除く毎日 8:30~17:00(土曜日は12:00まで)	市役所1階市民相談室 (64)2111(内)201	交通事故による補償問題や手続き等
弁護士による交通事故相談	毎月第3火曜日 13:00~17:00	市役所1階市民相談室 (64)2111(内)201	交通事故による補償問題や手続き等
健康相談	毎週月曜日 9:00~11:00、13:00~15:30	市役所1階健康相談室 (64)2111(内)305	乳幼児や一般の方の健康管理や病気の予防相談
生活相談	日曜日を除く毎日 8:30~17:00(土曜日は12:00まで)	市役所1階福祉事務所 (64)2111(内)248・249	生活に困っている方や生活保護を受けようとする場合
消費生活相談	毎週月・水・金曜日 9:30~16:00	越谷市立消費生活センター (85)8886-9654	買物相談や訪問販売・苦情相談等の消費生活に関する問題
経営相談	毎月第2・4水曜日 10:00~16:00	市役所商工課内 (64)2111(内)355	経営上の悩みごとや種々の経営相談
労働・労務相談	毎月第1・2水曜日 13:00~16:00	市役所商工課内 (64)2111(内)357	労働問題(賃金、労災等)全般に関する相談
内職相談	毎週火・木曜日 10:00~15:00(受付は12:00まで)	越谷市内職相談所福祉会館内 (64)2111(内)571	内職(求人、求職)の相談、あつ旋
人権相談	毎月第3木曜日 10:00~15:00	市役所または福祉会館 (64)2111(内)323	人権侵害等の問題で困っている場合
行政相談	毎月第2金曜日 10:00~15:00	福祉会館1階相談室 (64)2111(内)575	国や県の行政問題(道路、年金、建築、公害、住宅など)
登記相談	毎月第2土曜日 9:00~12:00	市役所1階市民相談室 (64)2111(内)323	登記に関すること(更正登記、移転登記、表示登記、相続、贈与登記など)
心配ごと相談	毎週月・金曜日 10:00~16:00	福祉会館1階相談室 (64)2111(内)575	家庭内および近所とのいざこざで困っている場合
結婚相談	第1・3日曜日と毎週火曜日 10:00~16:00	福祉会館1階相談室 (64)2111(内)575	結婚についての相談や相手の紹介等
家庭児童相談	月~金曜日 9:00~16:00	福祉会館1階相談室 (64)2111(内)573	子どものことで困った問題がある場合
高齢者職業相談	月~金曜日 9:00~16:00	福祉会館1階相談室 (64)2111(内)572	高齢者への職業(求人、求職)あつ旋および労働相談
教育相談	日曜日を除く毎日 9:00~16:30	越谷市教育相談所(東小林記念会館内) (66)6833	児童の性格、行動、学業知能、日常のしつけに関する教育相談

◎緊急処理センター…毎日の生活中で土木・衛生関係について、苦情や要望等がありましたらお気軽にご相談ください。(64)2111(内)339

越谷市民憲章

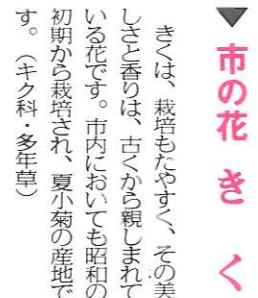
わたくしたちは、越谷市民であることに誇りと責任を持ち、水と緑と太陽に恵まれた豊かなまちを築くため、限りない願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

- 教養を豊かにし、人間性あふれる文化のまちをつくります。
- きまりを守り、信じあい
心豊かな明るいまちをつくります。
- 自然を愛し、お互いに助けあい、
きれいなまちをつくります。
- 健康で楽しく働き、
明るいスポーツのまちをつくります。



けやきは、市内に多く、本市の自然条件にあります。けやきには四季それぞれの趣があり、その雄姿は草とし、伸びゆく越谷市を象徴する木です。(ニレ科・落葉喬木)

市の木 けやき



きくは、栽培もたやすく、その美しさと香りは古くから親しまれている花です。市内においても昭和の初期から栽培され、夏小菊の産地で



市の花 きく